

農地中間管理事業の推進に関する法律第26条第1項に基づく農業者等の協議について

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体(担い手)の状況			4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか	5. 農地中間管理機構の活用方針	6. 地域農業の将来のあり方		
		法人	個人	集落営農任意組織			取組事項	対応	コメント
合渡	平成29年5月24日	2	15	0	担い手は十分確保されている	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 合渡地域の今後のあり方としては、農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、いちご、枝豆、ほうれん草、ブロッコリーなどの野菜生産の主産地化を促進する。
方県	平成29年5月25日	3	11	2	担い手は十分確保されている	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 方県地域の今後のあり方としては、伊自良川水系に属する平坦部の農地は、大田圃ほ場整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから、田として利用していく。また、観葉植物などの施設園芸を促進していく。
黒野	平成29年5月29日	4	12	2	担い手は十分確保されている	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 黒野地域の今後のあり方としては、農業生産基盤が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用していく。また、多品目の野菜、柿、梨など果樹の栽培を促進していく。
木田	平成29年5月23日	2	7	0	担い手は十分確保されている	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 木田地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから、田として利用する。また、いちご、枝豆など野菜の栽培を促進する。
西郷	平成29年5月29日	5	9	2	担い手は十分確保されている	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 西郷地域の今後のあり方としては、農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用していく。また、きゅうり、いちごなど野菜の栽培を促進する。
七郷	平成29年5月23日	1	8	0	担い手は十分確保されている	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 七郷地域の今後のあり方としては、農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、枝豆など野菜の栽培を促進する。

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体(担い手)の状況			4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか	5. 農地中間管理機構の活用方針	6. 地域農業の将来のあり方		
		法人	個人	落着任意組織			取組事項	対応	コメント
網代	平成29年5月23日	5	17	1	担い手は十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 網代地域の今後のあり方としては、板屋川水系に属する平坦部の農地は、農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対する条件を備えていることから、田及び柿園として利用し、傾斜地は、柿園として利用していく。また、プロックリーをはじめとする野菜の栽培も促進していく。
山県	平成29年4月21日	2	2	3	担い手は十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 山県地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用し大規模化を目指す。また、プロックリー、里芋など野菜の栽培を促進する。
敵美	平成29年4月25日	3	5	0	担い手は十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 敵美地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用し大規模化を目指す。また、プロックリー、里芋など野菜の栽培を促進する。
春近	平成29年4月20日	4	3	0	担い手は十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 春近地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用し大規模化を目指す。また、プロックリー、里芋などの栽培を推進する。
長良	平成29年4月21日	0	1	0	担い手は十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 長良地域の今後のあり方としては、ほぼ全域を畑・樹園地として利用し、いちご、ブドウなど野菜、果樹の栽培を促進する。
常盤	平成29年5月24日	2	2	0	担い手は十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 常盤地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから、田として利用する。傾斜地は樹園地として利用する。また、枝豆、柿など野菜、果樹の栽培を促進する。

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果を取りまとめた年月日	3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体(担い手)の状況			4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか	5. 農地中間管理機構の活用方針	6. 地域農業の将来のあり方		
		法人	個人	集落農任意組織			取組事項	対応	コメント
岩野田	平成29年5月31日	0	1	0	担い手はいるが十分ではない		生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	岩野田地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
三里	平成29年5月30日	0	1	0	担い手はいるが十分ではない		生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	三里地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
鏡島	平成29年4月21日	0	0	0	担い手がいない		生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	鏡島地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
市橋	平成29年4月21日	1	3	0	担い手はいるが十分ではない		生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	市橋地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
日置江	平成29年4月26日	3	2	1	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	日置江地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、そら豆、プロッコリーなど野菜の栽培を促進する。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
鶺	平成29年4月24日	1	1	0	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	鶺地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体(担い手)の状況			4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか	5. 農地中間管理機構の活用方針	6. 地域農業の将来のあり方		
		法人	個人	落着任意組織			取組事項	対応	コメント
芥見	平成29年4月25日	4	5	1	担い手は十分確保されている	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 芥見地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、里芋など野菜の栽培を促進する。
岩	平成29年4月27日	2	2	0	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 岩地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、里芋など野菜の栽培を促進する。
北長森	平成29年4月25日	2	0	0	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 北長森地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、キャベツ、ブロッコリーなどの栽培を推進する。
日野	平成29年4月20日	1	1	0	担い手はいるが十分ではない		生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 日野地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
鷺山	平成29年4月26日	1	1	0	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 鷺山地域の今後のあり方としては、中濃用水区域の農用地は主に田として利用し、向井地区は畑として利用する。また、大根、ほうれん草などの栽培を推進する。鷺山地区は、市街化区域内の農地が中心であるが、専業農家が多い地域であり、優良農地を保全管理し、岐阜の特産である枝豆・ほうれん草・大根等の産地拡大に努め、安全・安心と環境に配慮した農業を促進していく。
則武	平成29年5月31日	0	4	0	担い手はいるが十分ではない		生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 則武地域の今後のあり方としては、市街化区域内の農地が中心であるが、専業農家が多い地域であり、優良農地を保全管理していく。しかし、高齢化と農地の減少・農産物価格低迷等の問題も抱えているが、岐阜の特産である枝豆・ほうれん草・大根等の産地拡大に努め、安全・安心と環境に配慮した農業を促進していく。

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体(担い手)の状況			4. 3の結果として、当該区域に担い手が十分いるかどうか	5. 農地中間管理機構の活用方針	6. 地域農業の将来のあり方		
		法人	個人	落着農任意組織			取組事項	対応	コメント
島	平成29年5月24日	0	13	0	担い手は十分確保されている		生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、複合化 ○ だいいん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	島地域の今後のあり方としては、市街化区域内の農地が中心であるが、専業農家が多い地域であり、優良農地を保全管理していく。しかし、高齢化と農地の減少・農産物価格低迷等の問題も抱えているが、岐阜の特産である枝豆・ほうれん草・大根等の産地拡大に努め、安全・安心と環境に配慮した農業を促進していく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
南長森	平成29年4月26日	2	0	0	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、複合化 ○ だいいん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	南長森地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、プロコリー、ネギなどの栽培を促進する。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
茜部	平成29年5月25日	2	2	0	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、複合化 ○ だいいん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	茜部地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
厚見	平成29年4月26日	1	0	0	担い手はいるが十分ではない	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、複合化 ○ だいいん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	厚見地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
本荘	平成29年4月21日	0	0	0	担い手がいない		生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、複合化 ○ だいいん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	本荘地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		
柳津	平成29年4月25日	1	5	0	担い手はいるが十分ではない		生産品目の明確化		岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、複合化 ○ だいいん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。
							複合化	○	今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就業しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。
							6次産業化	○	各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。
							交付加価値化	○	柳津地域の今後のあり方としては、遊休農地や耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大、担い手の育成等を図っていく。
							新規就農の促進	○	
							その他[]		